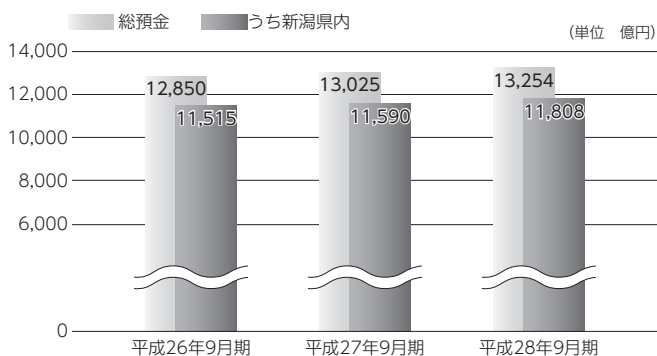


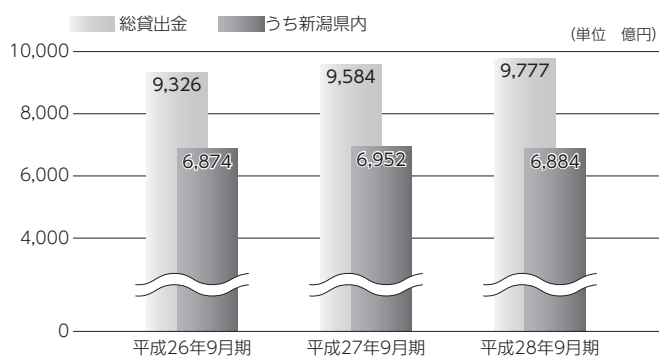
平成28年度中間決算ダイジェスト (単体)

■ 預金



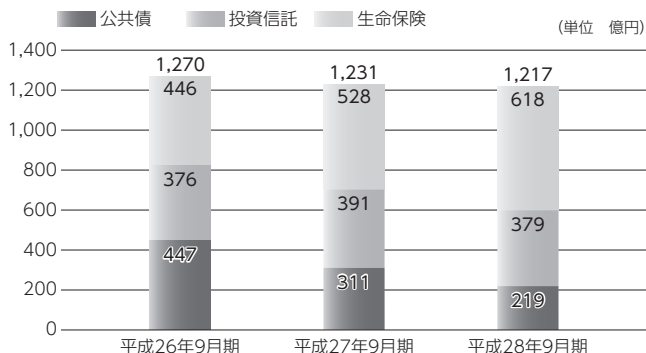
預金等残高(含む譲渡性預金)は、個人・法人預金ともに増加し、前年同期比229億円増加の1兆3,254億円となりました。新潟県内預金残高は1兆1,808億円、県内預金比率は89%です。

■ 貸出金



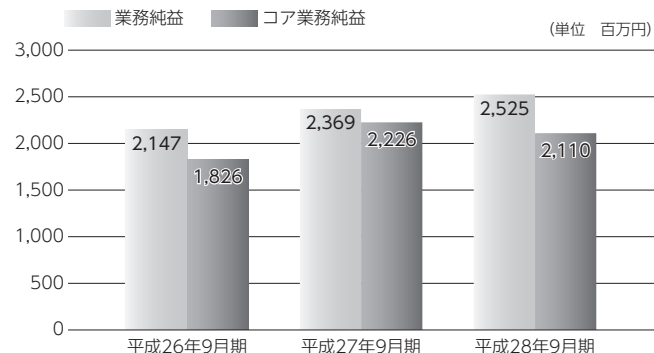
貸出金残高は、中小企業向け貸出の伸長により事業者向け貸出が増加したほか、住宅ローンを中心に個人向け貸出が増加し、前年同期比193億円増加の9,777億円となりました。新潟県内貸出金残高は6,884億円、県内貸出金比率は70%です。

■ 預り資産



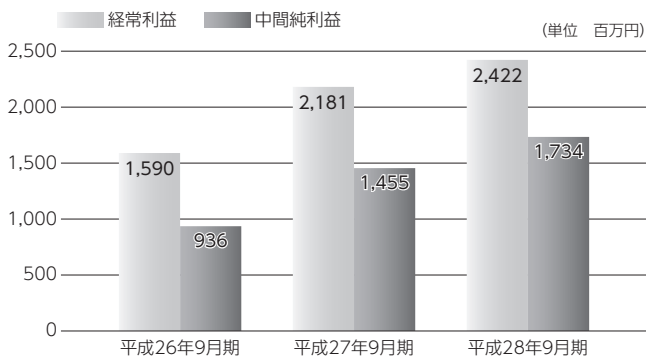
預り資産残高は、生命保険が順調に増加したものの、個人向け国債の償還による公共債の減少、基準価額の下落による投資信託の減少により、前年同期比14億円減少の1,217億円となりました。

■ 業務純益・コア業務純益



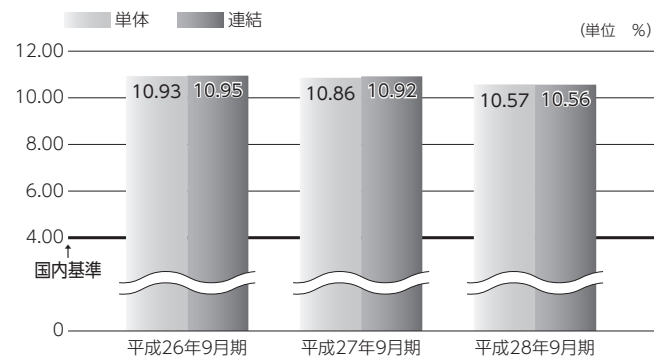
業務純益は、国債等債券関係損益や役員取引等利益の増加、経費の減少などにより、前年同期比1億56百万円増益の25億25百万円となりました。コア業務純益は、前年同期比1億16百万円減少し、21億10百万円となりました。

■ 経常利益・中間純利益



経常利益は、不良債権処理額の減少などにより、前年同期比2億41百万円増益の24億22百万円となりました。中間純利益は、経常利益の増加を受け、前年同期比2億79百万円増益の17億34百万円となりました。

■ 自己資本比率



自己資本比率は、単体が10.57%、連結が10.56%といずれも規制値の4%を大きく上回る水準であり、引き続き高い健全性を維持しております。